

群馬県議会 リベラル群馬

発行 リベラル群馬 後藤かつみ事務所
住所 高崎市八幡町 800-24
TEL&FAX 027-343-1393
e-mail ccrgoto@af.wakwak.com
http://www.ccrgoto.com/
http://www.eaglesgoto.com/(スマートフォン用)

後藤かつみ

2018年2月定例会報告

街頭演説
2800
日

「道の駅」の生みの親であり、山村振興策の権威である、徳野貞雄熊本大学名誉教授を招き、南牧村にて学習会を開催。徳野氏が提唱する、「世帯」と「家族」の違いに着目した「T型集落点検」のエッセンスを学ぶ。



CONTENTS

- I 新年度予算を独自の視点で検証
- II 公共交通再生～やれることは何でもやる！意欲に満ちたビジョンを策定～
- III 山村地域再生～山村振興の「権威」の教えを活かす～

後藤の視点からの新年度予算のポイント

財政の健全化

- 財政調整基金(県の貯金)の取り崩しを抑制

人への投資(子育て・教育)

- スクールソーシャルワーカー(家庭等に問題を抱える子どもを支援する専門員)の増員
- 第3子以降3歳児未満児の保育料免除(3億円)

人への投資(福祉・医療)

- 障がい者雇用の農・福連携事業(530万円)
- 健康寿命の延伸促進(860万円)

人への投資(雇用・人材育成)

- 介護・保育人材の確保(1億5,000万円)
- ロボット・EV技術分野の人材育成(1,000万円)

公共交通の再生

- 県内バス路線をデータ化し、スマートフォンなどで検索できる乗換検索サービスの実用化(6,000万円)
- 交通空白地における「相乗り」タクシーなど、新たな移動手段の導入実験(520万円)

山村地域の再生・U・Iターン促進

- 首都圏からの移住相談窓口「ぐんま暮らし支援センター(銀座に開設)」(4,300万円)
- U・Iターン(Gターン)推進(5,700万円)

「人への投資」分野等で施策充実
 リベラル群馬は、毎年の知事への予算提言において、「人への投資」を軸とした政策への転換を求めています。その観点からも評価できる施策が多数盛り込まれています。

また、後藤がこだわり続ける「公共交通・山村地域の再生」においても、施策が大きく前進しつつあります。

財政健全化へのきっかけとなるか
 財政調整基金は、減債基金と合わせ県の「貯金」と言われ、災害など不測の支出や収入不足に備える大事な財源です。

近年、この基金を大きく取り崩す財政運営が続いており、後藤は、適正額の確保が必要であると指摘してきました。

新年度予算では、基金の取り崩しを10億円抑えた編成をしており、健全化への一歩となることを期待したいところです。

新年度予算を独自の視点で検証



リベラル群馬、大澤知事に次年度予算に向けた提言書を提出(昨年12月)